

Think, Read and Write

CRITICALLY



ミツイ直子

Think, Read and Write CRITICALLY.



All rights reserved.

Copyright © 2023, 2015 by Naoko Mitsui

NOTICE: You DO NOT Have the Right to Reprint or Resell This eBook!

You also MAY NOT give away, sell or share the content herein.

All rights reserved. No part of this report may be reproduced or transmitted in any form whatsoever, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, or by any informational storage or retrieval system without the expressed written, dated and signed permission from the author.

著者の許可なしに複製、転写をすることを固く禁じます。

CONTENTS

CRITICAL THINKING

What's Critical Thinking?	4
Why Us? Why Critical Thinking Skills?	7
How to Improve Critical Thinking Skills?	8
Teaching How to Think Critically to KIDS	9
Teaching How to Think Critically to TEENS	16
Teaching How to Think Critically to ADULTS	22
Critical Thinking Skills at Workplace?	23
What do We Need to do as a Critical Thinker?	25

CRITICAL READING

What does it mean to "Read Critically"?	31
Why Critical Reading Skills?	32
How to Read Critically?	33
Teaching How to Read Critically	39

CRITICAL WRITING

What does it mean to "Write Critically"?	43
Why Critical Writing Skills?	45
How to Write Critically?	48
Teaching How to Write Critically	52
終わりに	55
参考文献・参考資料	56

CRITICAL THINKING

What's Critical Thinking?

Critical Thinking/批判的思考とは主要英語圏を始めとする教育先進国で推進されている思考パターンを指します。goo 辞書によると、Critical Thinking は「物事や情報を無批判に受け入れるのではなく、多様な角度から検討し、論理的・客観的に理解すること」とあります。

つまりは、以下の要素を持った思考パターンが Critical Thinking なのです。

- ◆物事を客観的に見る。
- ◆問題を明確化する。
- ◆データから推論立て、結論に至る。
- ◆認知的な一貫性を持つ。
- ◆解決策の長所や短所を見る。
- ◆利益を最大にする解決策を求む。

Critical Thinking は移民が多く、様々な人種が生活を共にしている欧米社会に合った考え方です。物事を客観的に見て、証拠や論点を確認しながら問題を明確化し、データから正しい推論を経て結論に至る考え方なので、そこには特定の文化の習慣や歴史は介入しません。事実、移民が多いアメリカでは何十年も前から義務教育で教えられています。

日本の思考パターンは、どちらかというと状況依存的だと認識されています。回り道が多い過程をとって討議され、参加者が納得いくまで話し合いをすることが推奨されています。批判を非常に嫌い、知的柔軟性は伝統的なものへの理解の欠如とみなされ嫌われることが多々あります。最良の「合意」を出すために相談に時間をかけ、また年長者の言うことには疑問を持たず従うことを求める権威的な方針だといえます。Critical Thinking とは全く異なる思考パターンが身につけてしまっているのが日本人なのです。

そんな日本では、2010 年代になってからようやく Critical Thinking の重要性がささやかれ始

め、日本の義務教育のカリキュラムに導入しようという動きがみられ始めました。2012年には京都大学の楠見孝教授(2012)が、Critical Thinkingは学校教育法五一条(高等学校における教育の目標)並びに社会の期待に応える教育改革の推進にて重要となるものの、「その修得すべき内容を定め、教育方法や評価法・単位卒業認定することは未解決の問題である」と述べ、その指導に関する遅れを指摘していました。2015年には文部科学省が、2020年から新たに改定される「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」では思考力を重視すると発表しました(毎日新聞, 2015)。この思考力がCritical Thinking Skillgを含むというような直接的な明記はありませんでしたが、「思考力を判定するため、問題文の長文化▽教科を横断するような問題▽記述式問題--を採用する。」とあったことから、Critical Thinking Skillsの必要性は明確であり、その重要性がハイライトされるようになりました。ただ、同時に、Critical Thinkingを教える体制が整っていなかったことも問題視されていました。

今では多くの教育機関でCritical Thinkingを教えているようですが、私ミツイが実際に様々な英語の先生方とお話をさせていただくと、Critical Thinkingが出来ていない方も多く

「実際の教育現場では、どんな先生向けのトレーニングがされているのか？」

「先生が『Critical Thinkingがどういうものか理解できているかどうか』に加え

『Critical Thinkingが身についているかどうか』はきちんと測られているのか？」

「どんなカリキュラムで、どう生徒にCritical Thinkingを教えているのか？」

というところに関しては、正直、疑問しかありません。

特定文化の歴史や習慣の枠にはまった考え方を一切介入しないCritical Thinkingは、世界中の人との交流・仕事当たり前となった今の時代に、英語と並ぶ必須スキルだと認識されています。グローバルなチームのコミュニケーションを円滑かつ効率的にするためにも、グローバル企業ではCritical Thinkingができる人材が求められるわけです。事実、グローバル企業で働いている方達の話を見ると、Critical Thinkingが身につけていない同僚の意見を聞くのは時間の無駄だという厳しい意見さえも出てきます。Critical Thinkingが身につけていない方達の意見は、大抵の場合、特定の価値観に基づいていて、感情的に、そして主観的に主張されることが多く、例えば流暢な英語が話せたとしても「全体像を見誤っている」「重要項目を把握できていない」「話を簡潔にまとめる力がない」というような批判を受け、故に「チームに貢献できるメンバーではない」と見なされてしまうのです。

仮に、一生涯日本から出ずに日本人のみと仕事をしていくとしても、本質を見極めることが可能となる Critical Thinking は、情報過多である現代のネット社会を生きる私達にとっては必須のスキルです。Critical Thinking が身につけていない方達は、自分で情報精査をせず、自分が信じたい情報だけを信じてしまう傾向が強く見られます。新型コロナウイルスが世界中で流行した際に、ネット上に数多くのフェイクニュースが蔓延したことは皆さんの記憶にも新しいと思います。2022年冬に発表された自然言語処理を用いた AI チャットボットである ChatGPT 使用に関しても、2023年4月3日に発表された東京大学の AI に対する見解で「ChatGPT を使いこなすには、相当の専門的な知識が必要であり、回答を批判的に確認し、適宜修正することが必要です」と述べられていたように、国内においても Critical Thinking (批判的思考) を駆使することの大切さが際立つわけです。

つまり、今すぐにも Critical Thinking の重要性を再認識し、生徒にその Skills を身につけさせるような教育を開始しないと、生徒は日本国内でも後れをとるばかりか、将来世界を舞台に活躍したいと思っても、その土俵に立つだけの基礎力さえ持っていないということになってしまうのです。

また、“Compared to students in a control group, the kids given critical thinking lessons made substantial and statistically significant improvements in language comprehension, inventive thinking, and even IQ” (Dewar 2009-2011) とあるように、Critical Thinking/批判的思考を教えることで生徒の他の能力を伸ばすことも出来、結果、生徒の可能性を広げることが出来るのです。

教育者として Critical Thinking を身に着けることがいかに重要かということ。

教育者として Critical Thinking を教えることがいかに重要かということ。

分かっていただけなのではないかと思います。

Why Us? Why Critical Thinking Skills?

「なぜ私達英語講師が、生徒の Critical Thinking Skills/批判的思考力を
気にしないとイケないの？」

「学校に任せておけば良いんじゃないの？」

こう疑問に思う先生方もいらっしゃると思います。

先述しましたが、Critical Thinking は「移民の行き来が激しく、様々な人種が生活を共にしている欧米社会」に合った考え方です。つまり、高い英語力を持ち、欧米社会の文化やコミュニケーション法を熟知している私達英語講師こそが Critical Thinking を教え広めるのに適しているとも言えます。例えば生徒が、現時点で Critical Thinking Skills を持っていないとしても問題ありません。英語を教えると共に Critical Thinking Skills を養えるようなアクティビティーを行いましょう。日本語で文章を書くのが苦手な人でも、英語ライティング力を身につけることで日本語での文章力をも上げることが可能なように、今 Critical Thinking Skills がないとしても、英語を学ぶのと同時に Critical Thinking Skills を高めるようなアクティビティーを行っていくと、英語だけでなく、日本語でも Critical Thinking をしていくことが可能となります。私達英語講師の少しの工夫と心掛けで、生徒の「英語以外の、国際社会で大事な能力」を伸ばすことが可能となるのです。

また、日本では Critical Thinking Skills を高めることを意識した授業を行っている英語の先生はまだまだ数が少ないのが実情です。ですので、Critical Thinking 対応の授業を行うことで、確実に皆さんの「他の英語の先生との差別化」が可能となります。人間の脳が受け取ることのできる「学びの容量」に限界がないように、生徒が学べることにも限界がありません。生徒が何をどれだけ学べるのかは、私達英語講師が取り扱う情報量に関わってきます。生徒の可能性を広げるためにも、英語だけでなく Critical Thinking をも教えるのは、生徒の今後の人生に影響をきたすくらい非常に大事なことなのです。

How to Improve Critical Thinking Skills?

Critical Thinking Skills を伸ばすためには、まず生徒に「考える癖」をつけさせることが大事です。ただ、闇雲に「この題について考えろ」と言っても生徒は自発的に考えるようになりませんし、その場限りのアクティビティーになってしまいます。あくまでも「自発的に、そして Critical に考えること」を習慣化させるのが目標ですので生徒の年齢に合ったアプローチを取るようにしましょう。

※ここでご紹介します年齢別のアプローチはあくまでも目安であり、生徒の性格や学習タイプによっては最適だと言えないこともあります。あくまでも「提案」であり「絶対的なルール」ではないとご理解の上、参考にして頂けますようお願い致します。



Teaching How to Think Critically to KIDS

- 1) 生徒からの質問を歓迎しましょう。
- 2) 生徒に沢山質問しましょう。
- 3) Communication を図る時には、常に「Be Clear」を心掛けさせましょう。
- 4) 人の意見を聞くことの大切さを教えましょう。
- 5) 正しいか間違いかという判断をし過ぎないようにしましょう。
- 6) 「伝える」よりも「体験させる」を心掛けましょう。
- 7) Problem-Solving Skills を伸ばしてあげましょう。
- 8) Empathy を育てましょう。